

審査員の作品

彩雲	石原翠絹	安来市
北アルプス雲の平山荘	石原翠絹	安来市
山頭火の言葉	伊藤紅水	松江市
湖あ	伊藤紅水	松江市
相田みつをの詩を	伊藤松溪	出雲市
新澄	伊藤松溪	出雲市
ずっと元気で	河本澄香	安来市
飲中八仙歌	河本澄香	安来市
百人一首	日下溪扇	出雲市
笑門来	日下溪扇	出雲市
念に生きる	森脇東雲	江津市

無鑑査の作品

松竹梅	浅野宏明	江津市
三好達治の詩を	石川松葉	出雲市
銀五百年の却之	植田睦水	江津市
清水寺の由来	大崎紅愁	大田市
花日記	大崎紅愁	大田市
山頭火草木塔一茶の花	加藤静苑	出雲市
社会に貢献し...	加藤静苑	出雲市
道極ムルは遊ぶが如く	佐々本順左衛門	出雲市
周興嗣作 千字本引用	瀬尾毅	江津市
心(孫の心)	高橋成和	鳥取県
秋意微満架蓋微(院香)	柳楽良夫	松江市
焦がし文字 琴	原笙子	安来市
焦がし文字 琴	森下美津子	松江市
焦がし文字 琴(瓢箪)	森下美津子	松江市

公募作品

夜長の一人酒	石戸妙子	江津市
吾唯足知	伊藤千尋	松江市
積少為大	伊藤千尋	松江市
鴻瓜集	伊藤陽翠	出雲市
牙	伊藤龍平	松江市
あなたのことでもよかった	★梅田賀千	江津市
未来は今日始まる明日始まる	★狩野みほ	松江市
のではない。推しの背中	★狩野みほ	松江市
きのこ会議	狩野睦子	松江市
花	★岸本しのぶ	松江市
秋をまるごと	草森禮子	浜田市
笑顔が大すぎ	黒川千津子	松江市
松江舟唄	郷原華梢	出雲市
平和でありますように!!	雑賀由美子	松江市
未	坂根由華	江津市
探求心	坂根由華	江津市
幸	櫻本照良	出雲市
空の世界	佐々木雅子	江津市
知者不言	佐々木睦子	江津市
気づいた事は	佐々木睦子	江津市
月日は百代のく	島田千津子	江津市
稲穂の教え	水津功	津和野町
農夫の響き	水津功	津和野町
雪	高田明澄香	津和野町
箱の底には何が見えますか?	高橋洋子	安来市
漆器職人だった「父さん」へ	高橋洋子	安来市
路(我が路を行く)	高藤美枝子	江津市
感謝	高屋徹	邑南町

花のいぶき	田中かず子	松江市
弱木	田中恵子	松江市
根元翠	田中恵子	松江市
若山牧水の歌	田中万美子	益田市
櫻	田中涼子	益田市
八十八歳の空想	玉木真由美	松江市
海士の牛突大会	中野勝枝	海士町
ほっとする	★福原喜世子	江津市
龍祈	藤原薫	飯南町
百人一首 秋の歌より	松尾純也	出雲市
赤とんぼ	松崎君江	松江市
星	★宗近惺月	江津市
快晴	森下瑠之介	邑南町
常設	八木崇太	邑南町
私のカメラ	★横川静江	松江市
要(家族の要)	横山富子	江津市

★島根硬筆アート会奨賞

第21回島根県民文化祭「特別参加展」

# 硬筆アート展

筆具と素材を自由に使い、



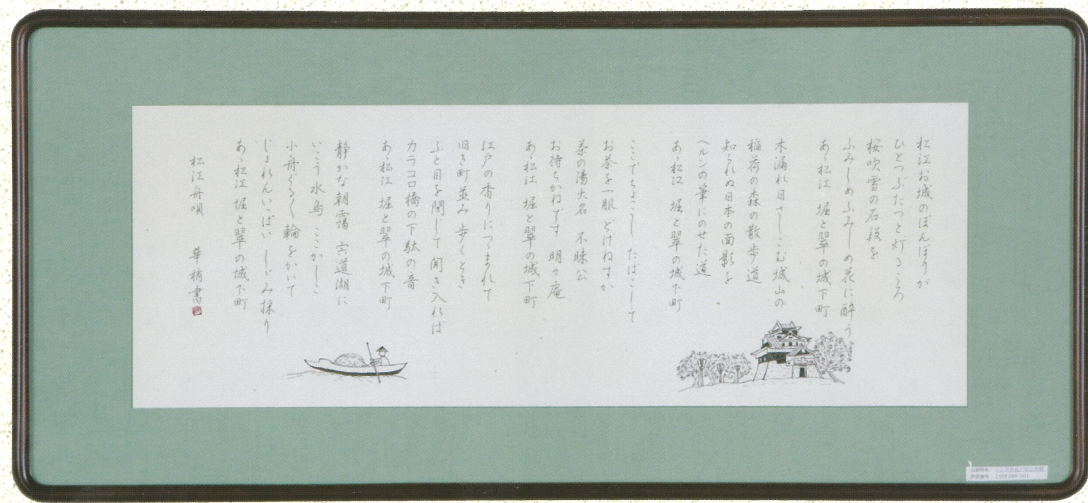
書的美しさと創造性を追求する

## 〔出品目録〕

2023年 10/29日~11/5日  
9:00~17:00(最終日は15:30まで)  
島根県民会館 1階 展示ホール

主催/島根県文化団体連合会・島根県・島根硬筆アート会  
共催/公益財団法人しまね文化振興財団





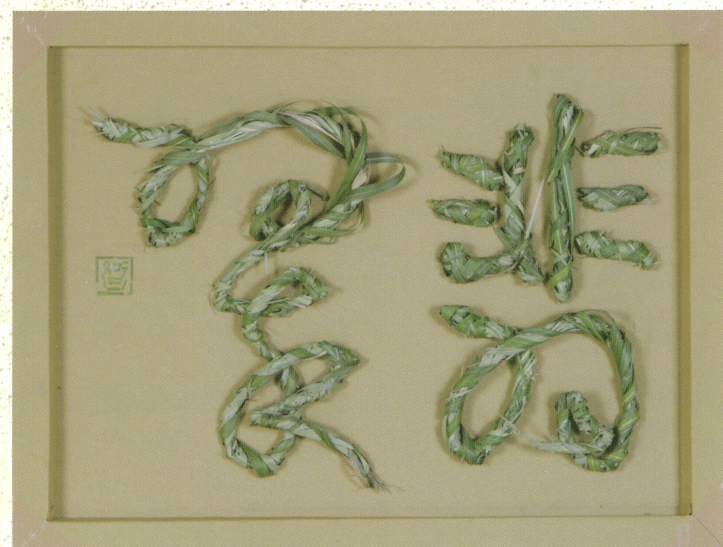
銀賞「松江舟唄」  
郷原華梢 出雲市 ボールペン



知事賞「吾唯足知」  
伊藤千尋 松江市 はけ・白抜き剤



銅賞「八十八歳の空想」  
中野勝枝 海士町 布を丸めたもの・割り箸



銀賞「翡翠(かわせみ)」  
田中智 益田市 すすき



銅賞「知者不言」  
佐々葉睦子 江津市 ろうけつ染め



銅賞「百人一首 秋の歌より」  
松尾純也 出雲市 はけ・切り絵・切り文字



金賞「空の世界」  
佐々木雅子 江津市 ペン・水彩絵の具

## 硬筆アート展総評

硬筆アート展、今年度は二十五回目の記念すべき展覧会となりました。

毛筆を除く各種の筆具で文字を表現した「筆具部門」と毛筆・筆具以外のもので文字を表現した「創作部門」があります。

創作部門の作品が圧倒的に多く、いろいろな筆具を工夫して用い、クオリティーの高い作品が年々増えて、充実した、見ごたえのある展覧会になって参りました。

今年も十一才から九十代までの幅広い年齢層の方々の作品が七十二点出品され、審査対象は四十六点でした。

今年若い方の作品が少なかったですが、隠岐から、津和野・益田からと、全県から出品していただいています。

硬筆アート展にご尽力いただいた皆さんに心より感謝申し上げます。

文責 森脇東雲

## 知事賞 「吾唯足知」

伊藤 千尋 (松江市)

「吾唯足知」という言葉を、丸い紙に共通の「口」を中央に、書いた作品です。

「わんぱう」という白抜剤をはけにつけて和紙に文字を書いて、裏から墨を塗ることで文字を白く浮き上がらせています。

三か月のような枠を添えることで、とてもシックでステキな作品になりました。

文責 伊藤紅水

## 金賞 「空の世界」

佐々木雅子 (江津市)

この作品を見て、まず色彩の素晴らしさが目に飛び込んできました。

「色即是空」の文字を篆書で縁を型取り、中をパステルカラーの絵の具で埋めつくされています。小ささまざまな円模様で…。

バックの図柄も流動的に変化する「空」の意味にふさわしく、ふわっとした感じがとてもステキです。

金賞おめでとうございます。

文責 石原翠絹

銀賞 「翡翠」

田中 智 (益田市)

御本人から伺いますと、家の廻りで、すすきを刈り、アイロンをかけてから、文字の型を作り、ダンボールにとじてると言う作品作り。

行・草体の作品でアート展にふさわしい発想です。

難しい文字をと思いますがすすきの軽さを生かした発想は、大変細かい技法です。

銀賞、おめでとうございます。

文責 河本澄香

銀賞 「松江舟唄」

郷原 華梢 (出雲市)

展覧会の開催地にふさわしい題材を選ばれ、ボールペンでボテもなく、爽やかに書き上げてあります。

字粒適切に、漢字とかなの調和もすばらしいです。

同じ言葉の繰り返しは何回かあるのを、丁寧に書いてあり、感心しました。

また、すばらしい挿絵も書かれていて印象に残りました。

全体を通して筆者のやさしさが感じられる作品となりました。

銀賞おめでとうございます。

文責 伊藤松溪

銅賞 「知者不言」

佐々葉睦子 (江津市)

白い布に知者不言と隷書で力強くろうでお書きになり、染料につけると自然に出来る亀裂が独自の模様となり、一層味わい深い作品となりました。

益々精進され、今後も一層のご活躍をお祈りしております。おめでとうございます。

文責 日下溪扇

銅賞 「百人一首 秋の歌より」

松尾 純也 (出雲市)

川の流れに落葉の構図、一瞬足が止まりました。切り文字もすばらしく秋の風情が感じられました。

ほかした月と切り文字の対比、そして下部の「流」という漢字も仮名と良く調和していました。全体の色合いも良くできていました。

銅賞おめでとうございます。

文責 伊藤松溪

銅賞 「八十八歳の空想」

中野 勝枝 (海士町)

数年ぶりの出品です。

板の木目を生かして彩色して、隠岐の夜の海の情景を浮かび上げられています。

八十八歳と年を重ねられ、そのまぶたに浮かぶ夜の海の情景・うちよせる波と、空と海の二つの月。

その上に、布に綿を入れて丸めたものと割り箸を使いわけ、墨をつけて「一期一会」とのせました。

変化にとんだ筆の運びでステキな作品に仕上がりました。

文責 伊藤紅水